

0・2歳児親子遊び事業「どんぐり会」「ジーバー会」

【支援金確定額：892,164円 支援率：42.42%】

記入日：平成25年（2013年）3月29日

■どのような活動をしている団体ですか？

地域に住む子育てを終えた女性達が、地域の乳児親子を対象に、0歳児親子遊び「どんぐり会」と2歳児親子遊び「ジーバー会」を運営しています。始めてから18年が経ち、約2,700組の親子たちが遊びました。

遊びは、おもちゃ遊び、わらべうた、ミニ文学、親子体操などで、母親達は育児相談や、互いに情報交換、友達作りなどを楽しんでいます。

今年度は、永年の夢だった「妊婦教室」を始めました。赤ちゃんがいない出産前に、親子の遊び方を十分に学んで、出産後に赤ちゃんと一緒に遊びます。



講義風景

■支援金をどのように活用されましたか？

0歳児「どんぐり会」は、船橋アリーナと坪井公民館の和室で、15組の親子と保育士2名が、毎週1時間、年間38回、2クラスが遊んでいます。2歳児「ジーバー会」は、船橋アリーナの多目的室で、20組の親子と保育士2名が、毎週1時間15分、年間38回、4クラスが遊んでいます。

2歳児の2クラスでは、次年度幼稚園や保育園にあがる子どもたちのために、最後の3か月間、20分間、親から離れて、子どもたちだけで遊ぶ時間を設けています。活動は会費で運営されますが、支援金を受けて会費は半額の300円です。

事業費の約6割が保育士の報償費、約2割が会場、駐車場、倉庫の使用料、残りがその他となっています。



クマのぬいぐるみを
赤ちゃんに見立てて遊びます

■事業を実施して、どのような成果がありましたか？

2歳児の「子ども遊び」クラスでは、最後の3か月間、子は親から離れて遊ぶので、一段と成長して幼稚園や保育園に行きました。また、自分の名前をグループ名で呼ばれて、言葉の概念が広がりました。

おもちゃ遊びには、年齢別に四つの段階の遊び方があります。0歳児は、親がおもちゃを一つずつ手渡しして、根気と共感を育てます。1歳児は出来なかった時に、親は2秒だけ手を添えて達成感を味わわせます。2歳児は、親が子を真似て遊び、2歳児の自発性と共感を育てます。3歳児は、親子で対等に遊びます。「妊婦教室」で、これらの遊び方を詳しく学ぶので、出産後に親子はより上手に遊べるようになります。対等な遊び方は対等な人間関係に結びつきます。

■今後の活動の抱負について

0・2歳児親子遊びは、水曜日と木曜日に5クラスを実施します。お友達を誘って参加してください。年度の9月と翌2月に募集します。

「妊婦教室」全3回は、4か月毎に年3回実施します。始めたばかりなので、募集に力を入れます。妊婦達は、まだ仕事をしている時期なので、町会の掲示板にポスターを貼らせてもらえると助かります。

平成25年度は企業の助成金を利用しました。資金を得るためには、寄付体制作りが必要です。0・2歳児親子遊びで過去18年間に遊んだ2,700名に、寄付の呼びかけをしていきます。

■問い合わせ先：代表 中村 三和子（なかむら みわこ）

TEL：047-466-3375

E-mail：kasinoki@ac.auone-net.jp